

「県産農林水産物 安全・安心実感ツアーin 相馬、新地」を開催しました。

小学生とその保護者を対象に、生産者の皆さんとの交流や農作業体験などを通して、相馬地方の農林水産業の再開や安全・安心の取組について、親子で楽しみながら学べる日帰りバスツアーを、平成29年12月3日に開催しました。

相馬地方（新地町・相馬市・南相馬市）の小学生と保護者20組40名の参加があり、始めに相馬市の大野村農園を訪問し、営農の状況、取組等について説明を受けた後、ブロッコリー及びゴボウの収穫を体験しました。

次に新地町の鹿狼の湯へ移動して、今年収穫した新地産蕎麦粉を使用した蕎麦打ち体験をし、参加者親子で自ら打った蕎麦をその場で味わいました。

昼食後は、相馬市へ戻りJAふくしま未来の日立木倉庫へ移動し、米の全量全袋検査の検査方法及び、米の低温倉庫の概要について説明を受け見学しました。

最後に、相馬市の磯部水産加工施設を訪問し、松川浦漁港の試験操業による取組及び放射性物質の検査体制について説明を受けた後、小女子・しらす等を加工する最新設備を見学しました。

参加者からは、「子どもにブロッコリー、ゴボウ畑を初めて見せた。子どもに良い経験をさせることができた。」「普段は見ることのない米の低温倉庫内の米袋が山積された風景に圧倒された。」「今後もこうしたツアーがあれば参加したい。」「放射性物質の検査により、米や水産物が安全であることを再認識することができた。」との意見がありました。



ブロッコリー収穫体験



ゴボウ収穫体験



そば打ち体験



米の全量全袋検査の見学